

豊水

静岡県水産試験場

駿河湾深層水水産利用施設

Suruga-Bay Deep Seawater Aquaculture Research Center
of Shizuoka Prefectural Fisheries Experiment Station

駿河湾深層水水産利用施設の概要

(1) 施設の目的

駿河湾深層水水産利用施設は、深層水のもつ低温安定性、清浄性、高栄養性等の特性を利用し、水産生物の種苗生産等における利用技術開発を行うことにより、本県の水産振興に寄与することを目的として建てられました。

(2) 施設の位置づけ

水産試験場本場の附帯施設とし、藻類・魚介類の種苗生産及び養殖に関する研究・技術開発を行う施設として平成16年4月に開所しました。

(3) 飼育用水の概要

水深397m及び687mから最大2000トン/日取水する能力を持つ深層水取水施設から、海水を本施設へ送水し研究に利用します。

研究課題紹介

当施設では、水産試験場深層水研究室での研究課題が5課題、同深層水プロジェクトの研究課題が1課題あり、現在はこれらを研究中です。

研究スタッフ紹介

水産試験場利用普及部深層水研究室

主任研究員 高瀬進
担当：カサゴ親魚養成技術開発研究

主任研究員 岡本一利
担当：深海性甲殻類養成技術開発研究

技師 二村和視
担当：サガラメ・カジメ種苗培養研究
アワビ陸上養殖研究

水産試験場深層水プロジェクト

主任研究員 花井孝之
担当：有用微細藻類・微生物の探索と利用
技術開発研究

技師 伴野安彦
担当：有用微細藻類・微生物の探索と利用
技術開発研究

研究課題一覧

サガラメ・カジメ種苗培養研究	磯焼けからの回復、サガラメの新規養殖のため、深層水を利用してサガラメ・カジメの種苗培養技術の研究を行う
深海性甲殻類養成技術開発研究	タカアシガニ、アカザエビなどの資源増大を図るため、清浄性、低温性の特徴を持つ深層水を利用して種苗生産技術の開発を行う
カサゴ親魚養成技術研究	安定した種苗生産を推進するため、産卵親魚の養成技術の開発を行う
アワビ陸上養殖技術開発研究	殻長30mm以上のアワビ陸上養殖技術を開発する
有用微細藻類の探索と利用技術開発研究	駿河湾深層水に生育する有用微細藻類を探索し、その大量培養と利用技術を開発する
駿河湾深層水利用で飼育・培養可能な水産生物の探索	甲殻類、魚類、貝類などの水産動物や、海藻などの水産植物および動植物プランクトンなどの微生物の飼育・培養の可能性を探索する。